

1	ここに出ている人々が小学校などで授業ミーティングをし、お互い様や命について伝え話をする
2	カウンセリング(訪問)・ボランティア 高齢の方とかの悩みをきく。きいて少しでも楽になってもらう。
3	つながり 助け合い 役割 居場所 (仕事?)
4	<自殺> メンタルヘルス メンタルケアの充実
5	<自分らしく> 認知症は人格・尊厳の喪失。全体がケアの——。
6	<高齢化社会> 個人の孤立化 老々介護→生活の破綻
7	社会は個々の体験だけでは普遍的な解決は出来ない。映像などで疑似体験する。
8	地域でサポート 組織でサポート
9	地域は「向う三軒両隣」から
10	高齢者だけではなく小さい頃より何らかの”生きる為の”自助互助のことを——と。
11	市民の——める期待するニーズに合致するような税金の使い道に極力近づけられるような投資(社会整備)を方向どりしてほしい。
12	独居老人夫婦介護などの孤独死共倒れをなくせるように、在宅ケアに頼らざるをえない人に対する(入所)受入を促進。
13	「予防介護」の考え方を行政(長久手)のテーマとして取り組む時期がきているのではないか?
14	高齢者介護の人への生活物資の提供——を地域の拠点ステーション(スーパー)を中心にまとめてほしい。(これは行政の仕事)
15	何かと不便が残る「在宅ケア」よりも入院医療を安心して受けられるように。特別養護老人ホームや老健の計画的な増設をすすめてほしい。
16	普段近所同士でお付き合いのある方を調査する。
17	隣同士でポストの確認(仕組作り)
18	市民は行政の人と一緒に訪問すると受け入れる。
19	両隣とのおつきあいを(声をかける)。地域(近く)で支えあいの仕組みを考える。
20	あいさつ 何度もあいさつ あいさつの後に「ちょっと話す」クセをつける運動
21	楽しみ 健康
22	介護・福祉に関する情報が得られる場所
23	地域の人が気軽に集まれる場所への支援(家賃の補助)
24	用をつくる(=社会性)(≡つながりのもと)(≡共通のこと)。「場」の発進(情報)。「あいさつ」をする。
25	災害時の手助け及び見守りや安否確認の声かけ。
26	情報を聞く